

2023年3月23日

専門学校名古屋デンタル衛生士学院
校長 飯野 新太郎

学校関係者評価委員会

2022年度学校関係者評価委員会報告

自己評価報告書を基に実施しました学校評価を下記の通り報告します。

記

1、学校関係者評価委員

- ①長谷川 勲（有識者委員：学校制度識者）
- ②飯野 弘和（専門分野委員：関連企業）

2、学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

2022年度学校関係委員会報告書

①教育理念

評価項目
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
学校における職業教育その他の教育指導の特色は何か
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がなされているか
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】 教育方針に掲げる人間性豊かな学生を育成するために、芸術鑑賞や体験学習、フラワーアレンジメントなど教養講座として実施している。 入学時のオリエンテーションで教育方針、教育理念を説明している 超高齢化社会に向けた口腔機能低下症の評価や口腔機能訓練法など歯科保健指導の中や高齢者施設実習の中で実施している</p> <p>【今後の課題と取組】 社会、歯科医療のニーズに対応できるよう講義、実習内容の充実さらに科目についても検討を重ねていく必要がある 時代の変化や医療の高度化に伴い国家試験の難易度が上がってきたことにより、カリキュラムの改定と1時間の授業時間を見直す予定である</p>
学校評価委員の意見
評価：ほぼ適切である 現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと

②学校運営

評価項目
目的等に沿った運営方針が策定されているか
運営方針に沿った事業計画が策定されているか
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
人事、給与に関する規程等は整備されているか
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか

情報システム化等による業務の効率化が図られているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>長期的、短期的な行事計画を作成し、例年実施している。</p> <p>移転後 14 年を迎え想定される大規模修繕について、第 2 号基本金の組入を具体的に 2023 年度予算より計画する。建物付帯設備の入替更新と歯科用ユニットもデジタルマルチモニタリングシステムとして導入を完了した</p> <p>教育活動に対する情報は自校ホームページにて掲載している</p> <p>情報システム化は既に、学校会計、学校給与、学生募集を実施している</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>ICT を活用した遠隔授業の整備をより強化する、引き続き建物付帯設備の入替更新案件を整備することや、各主務期間への申請が電子化へ移行する中でペーパーレス化やそれに伴う省スペース化も検討いたします。</p> <p>学生募集ソフトに付加されている教務関連機能ですが、年間カリキュラムが管理できるように整備を行う</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>ICT 活用のシステム構築は早急に検討する事項であるが、構想が肥大化しないように必要経費も考慮し熟考する必要性があることと校舎環境の整備も併せて検討する必要がある</p>

③教育活動

評価項目
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
授業評価の実施・評価体制はあるか
職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）を確保するなどマ

ネジメントが行われているか
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
職員の能力開発のための研修等が行われているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>学生の効果的な教育のために各学年クラス担任を配置し、生活面を含めたきめ細やかな指導を実施している</p> <p>臨床実習担当指導者に対しても成績評定会、講師会を開催し学生指導の指針、成績評価方法など情報共有をすることで適切な評価の実施に努めている</p> <p>臨床実習施設においては、矯正歯科、小児歯科、審美歯科など専門性の高い施設を増やしたことで医療現場での歯科衛生士の役割や技術、知識の習得ができています</p> <p>臨地実習においても乳幼児から高齢者に係る幅広い施設での実習を実施している</p> <p>また関連分野における業界等との連携において優れた兼務教員を招くことができた</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>専任教員には歯科衛生士専任教員講習会を順次受講し、専任教員認定歯科衛生士の資格を取得するよう指導している</p> <p>授業評価のあり方について①学習前の認識や経験、興味関心など(レディネス)を把握する。②授業過程において知識、技能等が習得されつつあるか確認する。③単元が終了時点で目標達成したかどうかを確認する。現段階では評価体制に検討の余地があり、教務間での話し合いをしっかりと行い評価体制を整えて行きたい</p> <p>次年度のカリキュラムについては、時代にあったカリキュラムの作成を行う前段階とし①カリキュラムのスリム化②国家試験の出題基準(出題されやすいポイント)にあった講義の依頼を行わずに肥大化したカリキュラムの改定を行いたい</p> <p>教員の能力開発のための研修ができるような時間の確保も併せて進めて行きたい</p> <p>教員の指導力育成など資質向上のための研修会にも積極的に参加するよう促して行きたい</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>教員の資質向上のため研修会に参加させることは非常に重要であることと同時に、自ら積極的に参加を促すため誘引方法についても検討する必要がある</p>

④学修成果

評価項目
就職率の向上が図られているか
資格取得率の向上が図られているか
退学率の低減が図られているか
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>国家試験合格を目指し、3年時には国家試験対策として非常勤講師によるまとめの講義、専任教員による補習授業を実施している</p> <p>模擬試験などを実施し全国的なデータを知ることによりモチベーションの向上につながっている</p> <p>成績不良者には専任教員が授業後の補習授業を実施している</p> <p>担任が学生に対してきめ細やかな指導を行うことにより退学者の減少につながる様努力している</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>国家試験対策については今よりもう少し早い段階からの対策を考え、夏には受験者が苦手としている基礎科目から特に国家試験に出題されやすいポイントをDHS 歯科衛生士部の夏期基礎対策講座で対策をしていきたい。また成績が伸び悩んでいる学生に対しては夏期講習を開催し夏休みより国家試験対策を行って行きたい</p> <p>成績不良者には専任教員が授業後の補習授業を実施しているがなるべく国試対策時に負担がかからないように早めから模擬試験などを実施し全国的なデータを元に課題をこなし合格率向上を図りたい</p> <p>卒業後のキャリア形成への効果を把握し在校生に還元してもらえるようなカリキュラムの構成をしていきたい</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>難易度が上がる国家試験について、改めて内容を踏まえた傾向と対策の必要性と学生へのモチベーションの維持向上の方法について検討する必要がある</p>

⑤学生支援

評価項目
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
学生の健康管理を担う組織体制はあるか
課外活動に対する支援体制は整備されているか
学生の生活環境への支援は行われているか
保護者と適切に連携しているか
卒業生への支援体制はあるか
関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>物価高騰の経済対策支援も日本学生支援機構の助成金と一部学院からも負担を行い、2月中</p>

旬に在学生にクオカードの配布も行いました

学生の健康面については今年度より入学時に既往歴を学生個票に記入させ、急な体調変化に対応できるようにした

また年一回の健康診断を実施しクラス担任を中心とし学生の様子を注意深く観察している
毎朝自宅で検温を行い体調と体温の様子を記入し朝登校時に提出し担任が確認している
愛知県よりコロナウイルス抗原定性検査簡易キットを追加で配備いただき発熱時や解熱後においてコロナ陰性確認を行ってから授業参加や臨床実習再開を行っている

成績表の郵送、また不良者に対しては保護者に連絡をとるなど早めに対処している

専任教員においては各自がクラス担任を持ち、実習教科を2つ以上担当するなどしており教員の不測の事態に備えられるよう、実習補助教員を増員し、対応できるようにしていく必要がある

学生や保護者との連絡連携をより密に強化するため、学校教育向けソリューションシステムを活用する

学校独自の歯科医院奨学金制度を実施している

校友会研修会が実施できていない

【今後の課題と取組】

経験年数の短い教員についてのサポート体制についての見直しが必要であるとする

新型コロナウイルスの影響による家計急変の状況は今後も継続していくと考えられるため、今後も支援に対する情報発信を迅速に行う。

校友会活動が休止してしまっているため、連絡先の整頓を図りながら卒業生の活躍を在校生に伝えていけるような研修会・活動報告会などを行って行きたい。

学校評価委員の意見

評価：ほぼ適切である

現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと

校友会組織や行事は今後の学校運営に非常に重要であるため、できるだけ早く活動の再開や活性化を行う必要がある

⑥教育環境

評価項目

施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか

防災に対する体制は整備されているか

自己評価

【取組状況と成果】

養成所指定規則上の施設、専修学校設置基準上の施設についての法令遵守を行っている
インターンシップ、海外研修制度に関しては実施をしていない

防災整備は学生及び教職員一人一人に防災グッズを配布し指定のロッカーに常備させて

いる

歯科衛生士養成デジタルマルチモニタリングシステムの導入により相互実習の強化が可能となった

【今後の課題と取組】

大規模修繕計画の策定と併せて、教育機関向けシステムの活用と教材のペーパーレス化や提出物の電子化を想定し、学生へPCの購入を促すことやICT環境の整備を予算面からも計画的に策定してまいります

防災は学校全体としての備蓄品を検討する

学校評価委員の意見

評価：ほぼ適切である

現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと

⑦学生の募集と受入れ

評価項目

高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか

学生募集活動は、適正に行われているか

学生募集活動において、資格取得・進学又は就職状況等の情報は正確に伝えられているか

自己評価

【取組状況と成果】

高校訪問や高校内で行われる説明会に関しては大幅に制限が緩和された状況で活動が可能となった。

体験入学も感染予防対策を意識しながら、ほぼ予定通り実施いたしました。人数制限と談話形式による食事の提供も引き続き自粛としました

毎年開催されている高等学校進路指導協議会との協定や指摘事項を遵守している

愛専各より無認可校との差別化を図るロゴマーク計画に賛同し、学校案内やホームページにも掲載を予定している

【今後の課題と取組】

早期から始まるAO入試についてはエントリーや出願者も良好であったので、早い段階からのアドミッションポリシーの啓発に対するますますの充実を図ります。また学びの電子化と同様にweb出願の導入を検討して参ります

学校評価委員の意見

評価：ほぼ適切である

現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと

⑧財務

評価項目

中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

財務について会計監査が適正に行われているか
財務情報公開の体制整備はできているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】 今年度も財務状況は安定している状況ですが、校舎移転より14年を経過した状況から第2号基本金の組入及び建物付帯設備の耐用年数を考慮し計画的に実施します コロナ感染症2019の影響は減少しつつも予防消耗品の削減は見込めず、高騰や入手困難な状況に考慮する必要がある コンサル契約を締結している公認会計士より財務諸表の確認と指導をいただいている</p> <p>【今後の課題と取組】 大規模修繕や大型設備の更新に備え更なる収支計画の充実を図る 受電契約の期間満了により受電契約を新たな業者に切替えて水道光熱費の削減を図る 情報公開に関してはホームページにコンテンツを作成し、学内に閲覧書類も整備している</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である 現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと</p>

⑨法令等の遵守

評価項目
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
自己評価結果を公開しているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】 個人情報に関しては取得に対する注意と漏洩に対する対策を実施、インターネット環境の接続強化を実施し万が一に備え財団の損害保険加入済み 法令解釈の相違を防ぐことと、様々な突発的事態に対策するため弁護士とのコンサル契約を行った 自己評価報告書、学校関係者評価委員会報告書に関しては今年度当初から実施し情報公開を行っている</p> <p>【今後の課題と取組】 自己評価とそれに伴う学校関係者評価委員会を実施する中で、問題点の改善は基より実施の時期や構成員等も細かく検討し、より活性化させます</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である 自己評価報告書と学校関係委員会報告書の情報公開については継続して実施すること 職業実践専門課程の申請を意識して外部評価の検討も行うこと</p>

⑩社会貢献・地域貢献

評価項目
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか
自己評価
<p>【取組状況と成果】</p> <p>資源や施設を活用した社会貢献は天白区歯科医師会の会合や研修会場として施設の提供を行っている</p> <p>【今後の課題と取組】</p> <p>地域活動に関しては毎年様々な行事が行われているが、本年度も新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止となり参加も見合わせとなりました</p> <p>生徒のボランティア活動に関しても、コロナ禍の状況に考慮した内容で継続して啓発を試みます</p>
学校評価委員の意見
<p>評価：ほぼ適切である</p> <p>コロナ禍の中で感染予防対策を意識した社会貢献や地域貢献を考案していくことが必要と考える</p>